

所属	専門職大学院	職名	教授	氏名	古屋 龍太	大学院の授業担当の有無	(有・無)
授業科目							
社会福祉学部	精神保健福祉士課程:精神保健福祉援助実習						
専門職大学院	専門演習・実践課題研究・実践の省察と評価、事例研究8(地域・医療分野事例)、個別スーパービジョン、グループスーパービジョン、ソーシャルワーク面接技法、精神保健福祉の理論と方法、発達障害の理解と支援、ソーシャルワークの価値と規範						
大学院博士前期							
大学院博士後期							
通信教育科	精神保健福祉士養成課程:精神保健福祉の制度とサービス、精神保健福祉援助実習指導						
教育活動							
教育実践上の主な業績		年月日	概 要				
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 個別スーパービジョンの実施		2019年4月～ 2020年3月	認定社会福祉士認証・認定機構のスーパーバイザーとして、同機構のツール・システムを用いた個別スーパービジョンを、前年に引き続き行った。専門職大学院の修了生・修習生・現役生ら計10名に対して、個別スーパービジョンほかの面談を、年間計70回実施した。				
実践研究における倫理的配慮指針		2020年1月～ 2020年3月	専門職大学院における実践研究を進める際に懸案となっていた倫理的配慮について、専任教員間で議論を重ねながら指針をまとめ、「Good Practice 2020」に掲載した。				
2 作成した教科書、教材、参考書 精神保健福祉士シリーズ第10巻 精神保健福祉援助演習(専門)(第3版)		2020年 3月15日	坂野憲司・福富律責任編集の同書にて、第7章地域生活への支援体制、第2節ケアマネジメント「退院困難患者」の地域移行に向けたケアマネジメント(125-133頁)を分担執筆、弘文堂				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 精神保健福祉士の役割の明確化と養成・人材育成のシステム作りの検討に向けた取組み ～養成校・職能団体・職場における卒後教育・研修プログラム提案～		2019年4月 ～2020年3月	日本精神保健福祉士協会に精神保健福祉士養成教育委員会(担当副会長:田村綾子、担当理事:古屋龍太、委員長:岩本操)を設け、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築及び地域共生社会の実現に向けた精神保健福祉士の役割の明確化と養成・人材育成の在り方等に関する調査」に取組んだ。厚生労働省令和元年度障害者総合福祉推進事業として取り組まれた同調査は、関係専門職団体代表者が参加しての企画検討部会と、全国の養成校・協会都道府県支部を対象に量的調査を行った上で、グッドプラクティスと考えられる対象先への訪問聴取を行う質的調査を行い、今後の養成教育～卒後教育～人材育成の仕組みづくりに向けた提案をまとめた。				
4 その他教育活動上特記すべき事項 グループスーパービジョンA		2019年6月 ～2020年3月	東京医療社会事業協会主催、東京都委託研修の「医療社会事業従事者講習会」のグループスーパービジョンAグループを担当。都内医療機関MSW9名のバイザーに対して月1回、計10回のグループスーパービジョンを行ったが、最終回は実施できなかった。				
フクシマバスツアー2019		2019年8月 3日～4日	専門職大学院の教職員・院生・修了生有志で2013年より開催している「フクシマバスツアー」を2019年度も開催した。今回は富岡町・大熊町・浪江町等の帰宅困難区域を見学し、南相馬市・飯館村の市民活動家らとの懇談会を持った。参加者は教職員2名、在校生2名、修了生11名、その他1名の16名であった。				
専門職大学院福祉実践フォーラム2019		2019年 10月5日	専門職大学院主催、全国生活協同組合連合会・全国労働者共済生活協同組合連合会の助成を得て、「人口減少・高齢化が社会を再生する「分かち合い」の地域コミュニティづくりに向けて」をテーマに、御茶ノ水ソラシティで開催した。				
研究活動							
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数		
<著書・編著書>							
PSWの 終焉 精神保健福祉士の現在	共著	2019年7月	批評社、精神医療95号	古屋龍太・西澤利朗・大塚淳子責任編集、大野和男・藤井達也・相川章子・吉池毅志・井上牧子・富島喜揮・樋澤吉彦・鶴田啓洋・鈴木詩子・桐原尚之・原昌平・小川忍ほか執筆	3-7 10-30		
医療保護入院 制度の廃止に向けて	共著	2020年1月	批評社、精神医療97号	古屋龍太・太田順一郎責任編集、八尋光秀・竹端寛・岡崎伸郎・山田悠平・姜文江・岡田久美子・西川健一・塩満卓・後藤基行ほか執筆	3-7 10-37		

< 研究論文・研究ノート >					
精神障害者の親への支援の現状と課題 現行精神保健福祉法制を改革する家族 支援アプローチの可能性	単著	2019年4月	鉄道弘済会、社会福祉研 究、第134号、特集「ケア を必要とする人と家族へ の支援」	古屋龍太	41-49
就労支援につなげるだけで満足していま せんか？ 精神疾患を有する人を対象とした雇用を めぐる方策と課題	単著	2019年8月	星和書店、精神科治療学、 第34巻8号、特集「精神科 治療における御法度 こ んなことしていませんか？」	古屋龍太	909-913
我が国の精神医療改革を阻んでいるもの 精神医療関係者の70年間の時代意識と 利害関係	単著	2019年11月	やどかり出版、響き合う街 で、91号、特集「精神医療 改革の理念と哲学 国際 的水準に学ぶ」総論	古屋龍太	9-14
< 調査・研究報告書 >					
厚生労働省令和元年度障害者総合福祉推 進事業「精神障害にも対応した地域包括ケ アシステムの構築及び地域共生社会の実 現に向けた精神保健福祉士の資質向上の 在り方等に関する調査」報告書	共著	2020年3月	公益社団法人日本精神 保健福祉士協会、精神保 健福祉士養成教育委員 会	田村綾子・古屋龍太・岩本操 ・岩崎香・栄セツコ・坂本智代 枝・橋本みきえ・赤畑淳・横 山なおみ・坂入竜治・羽毛田 幸子・大高靖史・伊東秀幸・ 木太直人ほか	78-81、 124-133
社会人の学びを支えるカリキュラムと研究指 導 日本社会事業大学大学院福祉マネジ メント研究科の試み	単著	2020年3月	星槎大学大学院、教育実 践研究と教育修士(専門 職)に関する共同研究 (2019年度星槎大学共同 研究助成)報告書	古屋龍太	6-27
< 翻訳 >					
< その他の執筆活動 >					
医療ソーシャルワーカーのクライアントへの かかわり ヒストリーとストーリーに耳を傾け聴くこと	単著	2019年4月	東京都福祉保健局、医療 社会事業従事者講習会 報告書No.35「医療ソー シャルワークの解決技法」平 成30年度	古屋龍太	7-12
地域包括ケアシステムと精神科診療所のポ ジション ソーシャルワーカーのマイクロ・メゾ・マクロ視 点から	単著	2019年6月	第25回(通算46回)日本 精神神経科診療所協会 学術研究会(埼玉大会) プログラム・抄録集	古屋龍太	78
PSWの 終焉 精神保健福祉士はMHSW として未来を切り拓く？	単著	2019年7月	批評社、精神医療、95号	古屋龍太	2-7
座談会：精神保健福祉士の現在 ソーシャルワークの危機	共著	2019年7月	批評社、精神医療、95号	大野和男・西澤利朗・藤井達 也・相川章子・古屋龍太	10-30
原告候補・渡辺秀憲さん 国賠の思いを託し亡くなる	単著	2019年7月	精神医療国家賠償請求 訴訟研究会、精神国賠通 信、第6号	古屋龍太	1-2
精神医療国家賠償請求訴訟研究会2019年 度総会議案書	単著	2019年7月	精神医療国家賠償請求 訴訟研究会、精神国賠通 信、第6号	古屋龍太	3-7
なぜ“復員”できなかったのか？ 戦中も戦 後も精神科病院に隔離 PTSDになった日 本兵の末路	共著	2019年8月	CYZO、月間サイゾー2019 年9月号(インタビュー記 事)	須藤輝・古屋龍太	48-51
「精神保健福祉士業務指針」を活用した日 常業務の再構築 その1 ～ 日常業務点検ワークの開発と意義～	共著	2019年8月	第55回公益社団法人日 本精神保健福祉士協会 全国大会・第18回日本精 神保健福祉士学会学術 集会抄録集	坂入竜治・岩本操・赤畑淳・ 浅沼充志・岡本亮子・栗原活 雄・鹿内佐和子・鈴木あおい・ 古市尚志・渡辺由美子・古屋 龍太	44
「精神保健福祉士業務指針」を活用した日 常業務の再構築 その2 ～ 教材「業務指針を活用した日常業務点検 ワーク」の試行結果を踏まえて～	共著	2019年8月	第55回公益社団法人日 本精神保健福祉士協会 全国大会・第18回日本精 神保健福祉士学会学術 集会抄録集	浅沼充志・岩本操・赤畑淳・ 岡本亮子・栗原活雄・坂入竜 治・鹿内佐和子・鈴木あおい・ 古市尚志・渡辺由美子・古屋 龍太	45
みんなで広げよう精神科デイケア・ネットワ ークPart2 ～ 全国のデイケア連絡組織の情 報交換・交流会～	共著	2019年9月	日本デイケア学会第24回 年次大会抄録集	古屋龍太・佐藤志津・渡邊文 宏・内野俊郎・横山浩之	63
精神医療国家賠償請求訴訟の法理論構成 を考える 現行精神医療法制の瑕疵と長年 に亘る国の不作為を問う	共著	2019年10月	第62回日本病院・地域精 神医学会総会(沖縄大会) 抄録集	東谷幸政・古屋龍太・蕨沢明 ・杉山恵理子・長谷川敬祐	

医療保護入院の廃止に向けて 日本特有の強制入院制度を「やむを得ない」で終わらせないために	単著	2020年1月	批評社、精神医療、97号	古屋龍太	3-7
座談会：医療保護入院をめぐる 矛盾の 巢窟の強制入院制度	共著	2020年1月	批評社、精神医療、97号	八尋光秀・竹端 寛・太田順 一郎・古屋龍太	10-37
ソーシャルワークの今そこにある危機を考 える メンタルヘルス領域とPSWの行方	単著	2020年1月	日本社会事業大学社会 福祉学会、社会事業研究、 第59号	古屋龍太	37-54
グループスーパービジョンの可能性と限界 ミクロ・メゾ・マクロレベルの省察作業を通 して	単著	2020年3月	東京都福祉保健局、医療 社会事業従事者講習会 報告書No.36「医療ソーシ ャルワークの解決技法」令 和元年度	古屋龍太	7-12
福祉実践フォーラム2019「人口減少・高齢 化が社会を再生する」報告書発刊にあたり	単著	2020年3月	日本社会事業大学専門 職大学院 福祉実践フォ ーラム2019報告書	古屋龍太	1-2
「迷惑をかけてごめんなさい」	単著	2020年3月	日本社会事業大学精神 保健福祉士課程、2019年 度精神保健福祉援助実 習報告書	古屋龍太	154
もやもやの、その先へ...	単著	2020年3月	日本社会事業大学専門 職大学院、修了生へのは なむけの言葉	古屋龍太	1
学会等および社会における主な活動					
< 学会報告 >					
地域包括ケアシステムと精神科診療所の ポジション ソーシャルワーカーのミクロ・メ ゾ・マクロ視点から	古屋龍太、第25回(通算46回)日本精神神経科診療所協会 学術研究会(埼玉大会)、シンポジウム 5「地域包括ケアシステムに精神科診療所はどうかかわっていくのか」、2019年6月23日、さいたま市(ラ フレさいたま桜ホール)				
ソーシャルワークの今そこにある危機を考 える メンタルヘルス領域とPSWの行方	古屋龍太、社大福祉フォーラム2019(第58回日本社会事業大学社会福祉研究大会)、本部企画シ ンポジウム「人に向きあうソーシャルワーク～さまざまな領域から、いま日本の福祉を考える～」、2019 年6月22日、清瀬市				
「精神保健福祉士業務指針」を活用した日 常業務の再構築 その1 ～ 日常業務点検ワークの開発と意義～	坂入竜治・岩本操・赤畑淳・浅沼充志・岡本亮子・栗原活雄・鹿内佐和子・鈴木あおい・古市尚志・ 渡辺由美子・古屋龍太、第55回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第18回日本精 神保健福祉士学会学術集会、分科会1-2「業務から専門性を探る」、一般演題、名古屋国際会議 場(名古屋市)、2019年8月31日				
「精神保健福祉士業務指針」を活用した日 常業務の再構築 その2 ～ 教材「業務指針を活用した日常業務点 検ワーク」の試行結果を踏まえて～	浅沼充志・岩本操・赤畑淳・岡本亮子・栗原活雄・坂入竜治・鹿内佐和子・鈴木あおい・古市尚志・ 渡辺由美子・古屋龍太、第55回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第18回日本精 神保健福祉士学会学術集会、分科会1-2「業務から専門性を探る」、一般演題、名古屋国際会議場(名 古屋市)、2019年8月31日				
みんなで広げよう精神科ケア・ネットワ ークPart2～ 全国のケア連絡組織の情 報交換・交流会～	古屋龍太・佐藤志津・渡邊文宏・内野俊郎・横山浩之、日本ケア学会第24回年次大会企画ワー クショップ、北星学園大学(札幌市)、2019年9月14日				
人口減少・高齢化が社会を再生する「分 かち合い」の地域コミュニティづくりに向け て、	日本社会事業大学専門職大学院福祉実践フォーラム2019、シンポジウム司会、御茶ノ水ソラシティ(千 代田区)、2019年10月5日				
精神医療国家賠償請求訴訟の法理論構 成を考える 現行精神医療法制の瑕疵と 長年に亘る国の不作為を問う	東谷幸政・古屋龍太・葦沢明・杉山恵理子・長谷川敬祐、第62回日本病院・地域精神医学会総会(沖 縄大会) -C3 交流コーナー、沖縄県男女共同参画センター(那覇市)、2019年10 月11日				
< 講演活動 >					
地域移行支援論～精神科長期入院患者 の退院支援の実践と課題～	日本医療マネジメント学会2019年度医療福祉連携講習会、日本医科大学講堂(文京区)、2019年9 月8日				
精神保健福祉論～精神科医療と精神障害 者福祉の過去と現在、将来像～	日本医療マネジメント学会2019年度医療福祉連携講習会、日本医科大学講堂(文京区)、2019年9 月8日				
精神障がいの理解と支援～特性を学び、 かかわり方を考える～	板橋区介護職員向け研修、板橋区おとしより保健福祉センター(板橋区)、2019年9月20日				
社会人の学びを支えるカリキュラムと研究 指導 日本社会事業大学大学院福祉マ ネジメント研究科の試み	星槎大学大学院FD委員会、星槎大学(横浜市)、2019年9月25日				
精神障害者の地域移行を阻む要因～住ま いの課題～	日本社会事業大学専門職大学院リカレント講座「地域移行支援と住まいを考える」日本社会事業大 学文京校舎(文京区)、2019年11月23日				
メンタルヘルス上の困難を抱える人々への かわり～うつ病・依存症・統合失調症の 特性の理解と接し方～	令和元年度 避難者のための地域コミュニティ再整備支援事業 支援者研修(福島県委託事業)、 東京会場：日本社会事業大学文京校舎(文京区)2019年12月3日				

メンタルヘルス上の困難を抱える人々へのかかわり～うつ病・依存症・統合失調症の特性の理解と接し方～	令和元年度 避難者のための地域コミュニティ再整備支援事業 支援者研修(福島県委託事業)、福島会場:富岡町文化交流センター(富岡町)、2019年12月4日
精神障がい理解と支援Part2 ～事例をととして、かかわり方を考える～	板橋区介護職員向け研修、板橋区おとしより保健福祉センター(板橋区)、2019年12月12日
長期入院の問題を解決するための方策 医療・福祉/地域・病院の視点から	大阪精神医療人権センター第3回権利擁護システム研究会、エル大阪(大阪市)、2019年12月22日
精神障害・発達障害のある方へのかかわり ～障害特性の理解と接し方のポイント～	東京司法書士会練馬支部研修会、練馬区役所(練馬区)、2020年2月3日
グループスーパービジョンA	一般社団法人東京医療社会事業協会主催、東京芸術劇場(豊島区)、計10回=2019年6月5日/7月2日/8月6日/9月3日/10月1日/11月5日/12月3日/1月7日/2月4日、最終回は中止
精神科長期入院 国提訴へ 「隔離政策で人権侵害」主張	信濃毎日新聞、2018年12月14日付記事において、精神医療国家賠償請求訴訟の意義についてコメント
精神病院から出られない医療保護入院の深い闇:現場医師の裁量で強制長期入院も可能になる	東洋経済オンライン、シリーズ精神医療を問う(第2回)、2020年3月1日5:25配信記事(風間直樹・井上恵美)において、医療保護入院制度についてコメント
<所属学会>	
日本デイケア学会	副理事長(2014.10.19～現在) 理事・評議員(2008.9.19～現在) 組織委員会、委員長(2008.2.1～現在)
日本病院・地域精神医学会	「病院・地域精神医学」編集委員会、査読委員(2004.4.1～現在) 評議員選挙管理委員長(2008.11.1～現在)
日本精神障害者リハビリテーション学会	会員(1996.4～現在)
日本精神保健福祉学会	会員(2015.6.～現在)
日本臨床心理学会	会員(1982.4.1～現在)
日本社会事業大学社会福祉学会	評議員(2009.6～2019.6) 事務局次長(2014.7～2019.6)「社会事業研究」編集委員(2014.7～2019.6)
日本ソーシャルワーク学会	会員(2015.8.24～現在)
日本学校ソーシャルワーク学会	会員(2020.1～現在)
公益社団法人日本精神保健福祉士協会	理事(2012.4.1～現在) 精神保健福祉士業務指針作成委員会、助言者(2014.7～現在) 精神保健福祉士養成教育検討委員会、担当理事(2018.12～現在)
一般社団法人東京精神保健福祉士協会	会員(1992.4.1～現在)
<社会的活動>	
学校法人日本社会事業大学	評議員(2018.4～2020.3)
社会福祉法人てりてりかんばんにい	賛助会員(2008.4～現在)
社会福祉法人あゆみ	第三者委員(2013.4.1～現在)
社会福祉法人嬉泉	評議員選任・解任委員(2017.1.12～現在)
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	医療型障害児入所施設サービス及び療養介護サービス利用にかかる苦情受付委員会、第三者委員(2016.1.4～現在)
一般社団法人地域共生研究所	代表理事(2015.5～現在)
一般社団法人東京医療社会事業協会	グループスーパービジョン(グループA)スーパーバイザー(2016.6～現在)
NPO法人地域生活支援センターまいんど	理事(2018.6.1～現在)
NPO法人相双に新しい精神保健福祉をつくる会	会員(2018.9～現在)
図書出版批評社	「精神医療」編集委員会、委員(2008.12.1～現在)
株式会社弘文堂	福祉臨床シリーズ編集委員会、委員(2010.4.1～現在)
認定社会福祉士認証・認定機構	認定スーパーバイザー(2014.4.1～現在)
はらまち九条の会	会員(2013.4.1～現在)
認定NPO法人大阪精神医療人権センター	会員(2017.8～現在)
精神医療国家賠償請求訴訟研究会	副会長・事務局長(2017.4～現在)